

## 三島工場動力部の危険有害性情報の見える化

当社三島工場では安全活動の見える化を推進しています。一例として動力部の状況を紹介します。

1. 年間の安全計画、無災害目標日数、具体的な活動状況を安全掲示板にて見える化し、  
作業員の安全意識向上を図っています。



写真① 安全活動掲示板

2. 危険有害性情報の見える化として各所に表示板を取付けしています。



通電中  
接地中  
(感電防止)



酸素欠場所 (酸素欠防止)

写真② 集塵機マンホール

感電・酸素欠の恐れがある場所だけでなく、危険薬品や高所にもそれぞれ表示を実施し、注意喚起することで災害の発生を防止する活動をおこなっています。

3. 運転禁止札（禁札）は掛けた場所がすぐに判るようにリスト化してフローを表示しています。

禁札管理ボード



緑切りチェックリスト  
設備 14B  
作業名 Sr 緑切り

緑切り				復旧				
職長	担当者	職長	担当者	職長	担当者	職長	担当者	
(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	
緑切り作業	操作箇所	禁札番号	氏名	日付	復旧作業	氏名	日付	復旧作業
1	Sr 緑切り (手前) 南→南	85	久保	9/26	久保	9/27	吉	
2	〃 (手前) 南→南	86	〃	〃	〃	〃	吉	
3	Sr 緑切り	93	〃	〃	〃	〃	吉	
4	Sr 緑切り	94	〃	〃	〃	〃	吉	
5	Sr 緑切り	97	〃	〃	〃	〃	吉	
6	Sr 緑切り	92	〃	〃	〃	〃	吉	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

備考、注意事項  
Sr 緑切り (手前) 7日 南中 (補給札) 本機

フロー図

- ・TBMを実施してから作業する。
- ・職長の許可を得て作業する。
- ・禁札は掛けた本人の氏名と日付を裏書する。
- ・緑切りチェックリストは保管し禁札枚数タグに利用する。

緑切りチェックリスト

緑切りチェックリスト  
設備 21B  
作業名 船水熱交換機(21B)-7b-

緑切り				復旧				
職長	担当者	職長	担当者	職長	担当者	職長	担当者	
(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	
緑切り作業	操作箇所	禁札番号	氏名	日付	復旧作業	氏名	日付	復旧作業
1	熱交換機(21B) 南→南	220	渡辺	11/10	久保	11/14	吉	
2	出口(〃) 南→南	148	〃	〃	〃	〃	吉	
3								
4	熱交換機(21B) 南→南	96	〃	〃	藤野	〃	吉	
5								
6	フロア(21B) 南→南	219	〃	〃	南野	〃	吉	
7								
8	熱交換機(21B) 南→南	220	〃	〃	藤野	〃	吉	
9	出口(〃) 南→南	220	〃	〃	久保	〃	吉	
10	熱交換機(21B) 南→南	148	藤野	〃	藤野	〃	吉	
11								
12	ろ過機(21B) 南→南							
13								
14								
15								

備考、注意事項

フロー図

- ・TBMを実施してから作業する。
- ・職長の許可を得て作業する。
- ・禁札は掛けた本人の氏名と日付を裏書する。
- ・緑切りチェックリストは保管し禁札枚数タグに利用する。

写真③ 運転禁止札の使用状況の見える化

4. 作業基準書にも写真を貼付けて見える化し、若年者にも判りやすくしています。

承認印				1/全3P
部長印	課長印	係長	作成者	

整理番号	動力部	共通	制定実施	平成 25 年 6 月 17 日
			改正実施	平成 年 月 日
名称	検電器取扱い作業基準			

1. 目的

- 1) 電気集塵器内部点検時残留電荷の有無を安全・確実に行い、電気集塵器内部点検を安全に行う。
- 2) 検電器は取扱い方法及び電気集塵器の構造を研修したもののみとする。

2. 準備

1) 検電器

(1) 検電器と絶縁バグが確実に接続されている事。



絶縁バグと検電器

(2) 検電器作動チェック。テストボタンを押し発音・発光状態の確認。発音が小さい、発光が暗い時は電池交換し再度作動チェックする。



テストボタンを押すと発音・発光する

(3) アース線の確認。被服破損が無い事、断線が無い事を確認。  
 (4) 絶縁バグの掃除。乾いた布等で拭き掃除。



汚れ、濡れていないことを確認

2) 高圧用絶縁手袋

(1) 絶縁手袋の確認。破損・穴空きが無い事。



高圧用絶縁手袋



丸めて空気洩れの無い事を確認

3) 接地端子とアース線の接続。(直流のみ。電気集塵器は直流なので必ずアースを取る。)




アース線の接続

3. 測定

1) 現場にてアースを取る。



手で引っ張り外れないことを確認する

2) マニュアル周辺から徐々に内部へ検電器検出部を内部へ挿入する。  
 3) 先端金具を放電板へ当てる。  
 4) 検電器反応なければ正常、アースを取り作業継続。  
 5) 検電器反応あれば作業中止し再度電源・接地状態の確認。

4. 片付け

1) アース線を取外す。  
 2) 絶縁バグの清掃。汚れ・水滴を掃除する。

5. 注意事項

- 1) 測定時にはグリップ部分以外は絶対持たない。グリップ部は末端からコムの露部分まで。
- 2) 測定中はマニュアル内へ体を入れない。マニュアルの外から検電する。

写真④ 高圧検電器取扱い作業基準書

器具を使っでの作業では、その器具の取扱い方法を写真入りで説明することで誰にでも分かりやすくするような作業基準書の作成をおこなっています。